

平成22年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成23年3月末現在) (NO:1)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
1 土 (1)	H22. 04. 09 15:50 その他	河川	型枠用資材として現場に搬入した鋼製角パイプの束の中から、荷崩れ防止用の結束線を緩めず無理に角パイプを引き抜いたところ、強い反動で体がよろめき後方にあった手摺支柱に右手小指を打ち付けた。 男 28歳 (右小指挫創) 2週間の加療	・安全対策意識の欠如 ・十分な作業空間を確保していなかった。	・安全教育の徹底 ・適切な作業空間を確保できる資材配置の徹底。
2 土 (2)	H22. 04. 21 11:00 その他	砂防	法面モルタル吹き付け作業中、φ100の吹付ホース内でモルタル閉塞があり、ホース外面にハンマーで打撃を与え、閉塞を解消していたところ、ホースが破裂して飛散したモルタルが作業員の左目に当たった。 男 48歳 (左眼硝子体出血、左眼続発緑内障) 全治3ヶ月	・安全対策意識の欠如 ・ホース閉塞時の具体的な処理手順が作成されていなかった。	・安全教育の徹底 ・具体的な処理手順を作成し作業員に周知徹底する。
3 土 (3)	H22. 04. 23 12:00 架空線・埋設物	道路	県道の路肩部にある既設円形水路を撤去する前段階として、車道舗装にアスファルトカッターを入れていたところ、埋設されていた市の上水道管を切断した。 (物損事故) 公衆災害	・水道管の埋設場所と手渡された配管図面で相違があった。	・占有者との現地立会のもと試掘を行い埋設状況の確認を行う。
4 土 (4)	H22. 04. 27 18:40 交通事故	道路	表層を撤去して露出した路盤が、通過車両の交通および雨水の浸透による影響で深さ10cm程度の穴が開き、被害車両が通行した際に、車両右前方および右後方のバンパーを損傷した。 (物損事故) 公衆災害	・現場管理体制が不十分であった。 ・路面の視認性が悪かった。	・現場管理体制の強化 ・十分な路面の視認性確保を徹底する。
5 都 (1)	H22. 05. 13 7:50 架空線・埋設物	街路	遊水処理のポンプを設置するため釜場を確保しようと掘削を行ったところ水道管を破損させた。 (物損事故) 公衆災害	・水道管の埋設場所と手渡された配管図面で相違があった。	・占有者との現地立会のもと試掘を行い埋設状況の確認を行う。
6 土 (5)	H22. 05. 22 10:40 その他	河川	作業員が足場上で足場板を固定する緊結線を外し、足場板を持ち上げて撤去していたところ、バランスを崩した後方へ転倒し、足場支柱に臀部を打ち付けた。 男 48歳 (左臀部切創)	・安全対策意識の欠如	・安全教育の徹底
7 土 (6)	H22. 05. 26 9:30 建設機械	道路	移動式クレーンで敷鉄板を移動させ、床掘法面にもたせかける状態で設置していたところ、作業員の左足の上に敷鉄板が乗り、足を骨折した。 男 22歳 (左中足骨骨折) 約60日間の安静加療	・敷鉄板のすべり止め処置の未実施。 ・作業員の立入禁止場所を明確にしていなかった。	・すべり止め処理の実施徹底。 ・作業場所、立入禁止場所の決定および周知を図る。
8 都 (2)	H22. 05. 31 16:05 その他	建築	鉄筋を径別に仕分けをするためクレーン吊上げ作業を実施中に、作業員が吊荷の下方に仮置きされた別の鉄筋を取ろうとしたところ、吊荷を押してしまい、吊荷がワイヤーから外れ落ち、作業員の左足に当たった。 男 28歳 (左足関節内果骨折) 約4週間の安静加療	・玉掛け方法が不適切であった。 ・安全意識の欠如	・容易に外れない玉掛けの実施を徹底する。 ・安全教育の徹底

平成22年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成23年3月末現在) (NO:2)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
9 土 (7)	H22.06.16 10:30 交通事故	道路	工事区間中の市道交差点部の路面で、通行中の乗用車の左前車輪が大雨の影響で発生した穴ぼこにはまり、タイヤ・ホイール・アームを損傷した。 (物損事故) 公衆災害	・舗装穴の発生に気付くのが遅れた。	・天候等の現場状況に対応した現場パトロールの実施を徹底する。
10 土 (8)	H22.06.23 10:05 架空線・埋設物	道路	排水工の間詰コンクリートを施工中、バックホウにて打設ホッパーを吊り上げ移動したところNTTの電柱から民家へ道路横断していた引込線に接触し破損させた。 (物損事故) 公衆災害	・架線防護管の未設置 ・見張員を配置していなかった。 ・安全対策意識の欠如	・架線防護管の設置 ・見張員の配置を徹底 ・安全教育の徹底
11 土 (9)	H22.07.02 4:00 交通事故	道路	夜中に短期間の集中的な雨が降り、設置していた仮排水溝(φ300)では雨水が収まらず、工事現場から土砂混じりの濁水が流出し、交差点部で土砂が堆積(1cm程度)した。その後、明け方に新聞配達のために交差点部を通ったバイクが転倒した。(物損事故) 公衆災害	・予想外の短期間の集中降雨 ・危険予知教育の不足	・仮排水管の断面の見直し ・警戒体制の強化 ・危険予知教育の徹底
12 土 (10)	H22.07.23 10:00 その他	河川	肩掛式草刈機を使用して堤防除草作業を実施していたところ、石が飛び、隣接していた家屋のガラスが破損(3cm程度)した。 (物損事故) 公衆災害	・現場から家屋まで距離があると判断し防護板を使用していなかった。	・家屋などがある付近の作業では防護板の使用を徹底する。
13 土 (11)	H22.07.23 14:30 その他	道路	草刈機を用いて、歩道と車道の間にある植樹帯の植樹帯及び植樹帯周りの除草作業を行っていたところ、石が飛び、近くに駐車していた車の運転席側の窓ガラスに当たり割れた。 (物損事故) 公衆災害	・歩道から車道方向への飛石防護措置は実施していたが、民地方向への措置は実施していなかった。	・作業の周辺状況に応じた適切な飛石防護措置の実施を徹底。
14 土 (12)	H22.08.12 11:00 架空線・埋設物	道路	ガードレール支柱設置に先立つ削孔時に、削岩機が埋設してある水道管を破損させた。 (物損事故) 公衆災害	・水道管理者と現地立会、その後、試掘を2回実施したが、一部想定外の場所に管が埋設されていた。	・試掘の回数を増やす。 ・埋設物の正確な情報について管理徹底を図る。
15 農 (1)	H22.08.16 16:45 建設機械	農村	重機オペレーターが足場(地山)にクラックが発生していることを確認し、さらに足場が緩んできたため、危険を察知して重機から降車した。その後、まもなく重機は切土小段の肩から既設道路下へ約13mずり落ち破損した。(物損事故)	・安全対策が不十分	・安全対策の強化、徹底
16 林 (1)	H22.08.19 9:45 その他	治山	山腹上部の表層崩壊防止のラス張り施工のため、作業員が作業ヤードでラス資材の確認・点検をしていたところ、背後の地山から直径3~4cmの落石が発生し、作業員の右肩部分にあたり負傷した。 男 63歳(右鎖骨遠位端骨折、頸部挫傷)約1ヶ月の通院加療	・落石防止対策が不十分 ・ラス張りの作業手順書が未作成	・浮石の除去、仮設ネットの設置を徹底 ・作業手順書を作成し周知徹底を図る。

平成22年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成23年3月末現在) (NO:3)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
17 都 (3)	H22.08.28 14:30 架空線・埋設物	街路	バックホウで路床改良を施工中、既設水道管をひっかけ損傷させた。 (物損事故) 公衆災害	・埋設物管理者との立会が未実施 ・安全対策意識の欠如	・埋設物管理者との立会の徹底 ・安全教育の徹底
18 都 (4)	H22.09.01 14:45 建設機械	街路	埋戻し土砂を10tダンプトラックにてバックで運搬中、交通誘導員を巻き込んだ。 男 59歳(左第6/7頸椎椎間関節骨折、右前腕挫創、左右耳介損傷) 約4週間の安静・加療を要する。	・土砂運搬を目視確認が難しいバック走行で実施していた。 ・交通誘導員がダンプトラックの死角に立ち入った。	・土砂運搬を前進のみの走行で実施できる作業体制を検討・実施する。 ・安全教育の徹底
19 土 (13)	H22.09.02 11:45 その他	砂防	調査業務の一環として実施した小学4年生対象の総合学習支援作業の後片付け時に、作業員が階段を降り、左側へ移動しようとした際に階段脇の丸太に足を引っ掛け転倒し足を捻った。 男 31歳(右第5中足骨骨折・右足挫傷) 約6週間の加療を要する	・授業が終了した安心感から足元の注意がおろそかになった。	・作業員の気が緩みやすい休憩中や休憩前後、業務完了時などに安全確認を全作業員に周知徹底する。
20 土 (14)	H22.09.10 11:50 建設機械	道路	工事予告看板の撤去作業のため、作業員が4tユニック車荷台の左側面につかまり移動していたところ、ユニック車が左カーブ箇所ですりに寄りすぎたため、作業員がユニック車とガードレールに挟まれ右足を骨折した。男 22歳(右脛骨骨折) 約6週間の加療を要する	・乗をしようと不適切な乗車をした ・安全意識の欠如	・規定乗車位置以外に乗車しない ・安全教育の徹底
21 土 (15)	H22.09.20 14:00 建設機械	砂防	クレーン付トラックで小型バックホウを現場に搬入した後にアウトリガーを上げたところ、無人のクレーン付トラックが輪止めを乗り越えて動き出し、民家の車庫に衝突した。 (物損事故) 公衆災害	・サイドブレーキの引きが甘かった。 ・17%もの急勾配の坂で作業を実施していた。	・作業前にはサイドブレーキの効き具合の確認を確実に行う。 ・平坦な場所を選んで荷降ろし作業をする。
22 林 (2)	H22.09.27 15:30 その他	治山	丸太に袖上部の丁張りを釘で固定し、床掘線に沿って丁張板を設置していたところ、丸太が外れて落下し、作業員の頭部に当たった。 男 43歳(顔面外傷・鼻骨骨折・鼻中隔骨折) 約10日間の安静加療を要する	・高所に丸太を固定しないまま設置していた。 ・安全対策意識の欠如	・丸太等の重量物が落下しないよう固定を徹底する。 ・安全教育の徹底
23 土 (16)	H22.09.29 1:20 交通事故	道路	片側交互通行を規制していた交通整理員が、南方向に直進してきた一般車両に轢かれた。 男 64歳(右仙骨骨折、左恥坐骨骨折、左脛骨高原骨折) 約8週間の加療を要する	・交通整理員配置箇所の夜間視認性が不十分	・交通整理員配置箇所も局部照明を設置する
24 土 (17)	H22.09.30 9:25 立木処理	砂防	根株から傾いて対岸の樹木に寄りかかっている木を、チェーンソーを用いて伐採したところ、想定外の方向へ倒れ、倒れた衝撃で伐採木が中折れし、木の上部が作業員に直撃し被災した。 男 73歳 死亡	・伐採作業員がチェーンソーの特別教育を未受講 ・安全対策が不十分	・作業前に必要な資格等を把握し、チェーンソーの特別教育の受講を徹底 ・安全対策の強化、徹底

平成22年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成23年3月末現在) (NO:4)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
25 林 (3)	H22. 10. 05 14:50 転落	治山	法面保護作業中、吹付箇所の移動のため、親綱の盛り替え作業を実施中に足元がすべり、作業員が10m下の路面に転落した。 男 35歳(脳挫傷、外傷性てんかん発作、意識障害による肺炎、右尺骨骨折、左橈骨遠位端骨折)約6ヶ月の通院加療を要する	・親綱の盛り替え時に他の落下防止措置が未実施の状態で一時的に安全帯を外した。	・親綱の盛り替えは事前に横ロープ設置を行い、横ロープに安全帯をかけて実施する。
26 土 (18)	H22. 10. 19 23:50 その他	道路	トンネル工事の発破工法掘削による上半切羽での火薬装薬作業中に、鏡吹付けコンクリートが施工してある切羽面から、20cm程度の岩塊が剥がれ落ち、作業員の頭部と腰部を直撃した。 男 41歳(第2腰椎圧迫骨折)2~3週間の入院加療	・切羽点検を有資格者1名にて実施していた。 ・安全対策が不十分	・有資格者に加え10年以上のトンネル掘削作業経験者の2名にて点検を実施する。 ・安全対策の強化、徹底
27 土 (19)	H22. 10. 26 11:40 建設機械	砂防	大型ブレーカにて岩床掘を実施していたところ、岩の破片(径3cm程度)が仮設防護柵を飛び越え、施工現場下部に停車中であった自家用車に当たり、フロントガラスが損壊した。 (物損事故) 公衆災害	・安全対策が不十分	・安全対策の強化、徹底
28 土 (20)	H22. 10. 29 9:30 その他	河川	外部足場のせり上げを行っていたとび工の作業員の手から鳥居枠が滑り落ち、下にいた鉄筋工の作業員の頭部に当たった。 男 54歳(外傷性頸部症候群)2~3週間の加療を要する	・安全意識の欠如 ・安全対策が不十分	・安全教育の徹底 ・安全対策の強化、徹底
29 土 (21)	H22. 11. 01 8:30 その他	道路	工事現場作業員休憩所からタバコの火の不始末により出火し、休憩室の一角を焼失した。 (物損事故)	・作業員の不注意	・作業員全員に対して火の取扱いに関する安全教育を徹底。
30 林 (4)	H22. 11. 09 14:00 立木処理	治山	岩盤に立てかかった状態の伐採・枝払いをした雑木を、通路を確保するため、作業員がチェーンソーを用いて玉切りしたところ、切断した木が岩盤にあたりその反動で作業員の方へ倒れ、負傷した。 男 53歳(左肩鎖骨骨折)1ヶ月の通院加療を要する	・安全意識の欠如	・安全教育の徹底
31 都 (5)	H22. 11. 12 10:30 架空線・埋設物	街路	橋脚工事の仮設矢板設置時にガス管を破損し、ガス漏れが発生、21世帯へのガス供給が止まった。 (物損事故) 公衆災害	・埋設管に関する資料提供を受けていたが、ガス管を見落としていた。	・安全対策の強化、徹底
32 農 (2)	H22. 11. 15 15:15 架空線・埋設物	農地	大型土のうの土砂を埋め戻しに利用するため、架空線でバックホウを用いて土のうを移動させた際、突然、土のうの底が破れ土砂が抜け落ち、その反動でバックホウのアームが上にあがり、架空線を切断した。(物損事故) 公衆災害	・大型土のうの布の確認を怠っていた。 ・安全対策が不十分 ・安全意識の欠如	・吊上げの際には土のうに不良箇所がないか点検を徹底する。 ・安全対策の強化、徹底 ・安全教育の徹底

平成22年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成23年3月末現在) (NO:5)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
33 土 (22)	H22. 11. 17 1:50 その他	道路	トンネル坑内切羽付近で軽トラックが後退中に坑内切羽の状況を確認していた作業員に接触して、作業員が転倒した。 男 39歳 怪我なし 精密検査の結果、異常なし	・安全意識の欠如	・安全教育の徹底
34 土 (23)	H22. 11. 17 12:05 建設機械	道路	ダンプトラックのリヤゲートに挟まった小石（こぶし小程度）を人力で取り除いた瞬間、指を挟み負傷した。 男 42歳（左中指末節骨開放骨折、左中指爪脱臼）約2ヶ月の安静加療を要する	・安全意識の欠如 ・石を手で取り除いた。	・安全教育の徹底 ・積込前の点検を実施し挟まった石は荷台を上げて撤去する。
35 土 (24)	H22. 11. 18 15:05 立木処理	河川	チェーンソーを用いた立木伐採時に、チェーンソーの刃が切り口に挟まったため引き抜いたところ、チェーンソーの刃が伐採補助員の足に当たって負傷した。 男 35歳（左膝挫創）約1週間の加療	・無資格者がチェーンソーでの伐採作業を実施した。 ・伐採の作業手順が不明確であった。	・資格保有者の確認を徹底する。 ・作業手順書を作成し周知徹底する。
36 土 (25)	H22. 11. 22 11:30 その他	道路	型枠設置作業時に鋼製型枠の隙間に左人差し指を挟んで負傷した。 男 62歳（左示指基節骨開放骨折）	・安全意識の欠如	・安全教育の徹底
37 土 (26)	H22. 11. 25 13:20 架空線・埋設物	砂防	電柱を支える支線にバックホウのアームが接触し、電柱の中央部分が折れて電柱の上部が道側に傾いた。それに伴い、折れた電柱と民家を接続していた引込線が切断し民家1件が停電した。 (物損事故) 公衆災害	・安全意識の欠如 ・見張員を配置していなかった。	・安全教育の徹底 ・見張員を配置する。
38 都 (6)	H22. 12. 3 7:00 交通事故	街路	横断暗渠排水（現場打ボックスカルバート）部の埋め戻し舗装復旧箇所が部分的に陥没し、既設舗装との段差が生じたことから、通行した車両（普通自動車）2台がパンクした。 (物損事故) 公衆災害	・路肩側が開口部となっており、雨に対する養生対策が未実施	・路肩側にも埋め戻しを実施し雨水が浸入しないよう路肩部の補強を徹底する。
39 土 (27)	H23. 01. 22 9:00 架空線・埋設物	河川	バックホウの移動中、視界確保のためアームを上げていたため、アームが電線に引っ掛かり、電柱が折れた。 (物損事故) 公衆災害	・安全対策が不十分	・安全対策の強化、徹底
40 土 (28)	H23. 01. 30 16:30 交通事故	道路	作業を再開しようとロータリー除雪車を道路センター方向へバックした際に、ロータリー除雪車右側を通過しようとした一般車両の左側面後部に接触した。 (物損事故) 公衆災害	・誘導車を付けずに作業を実施した。 ・安全意識の欠如。	・誘導車を付けることを徹底する。 ・安全教育の徹底。

平成22年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成23年3月末現在) (NO:6)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
41 土 (29)	H23.02.01 20:50 交通事故	道路	一般車両が走行していたところ、橋を通過して約100mの位置に逆走する向きに停車していた除雪ドーザに衝突した。 (物損事故) 公衆災害	・安易に判断して除雪手順と異なる逆走による除雪作業を実施した。	・手順どおりの除雪作業の徹底。
42 林 (5)	H23.02.09 11:10 転落	治山	はしごを中段の辺りまで昇った際に、はしごをつかもうと右手を出したが誤ってはしごの脇に立て掛けた単管を握ってしまい、バランスを崩して単管とともにキャットウォークの足場上に転落した。 男 57歳(左上腕骨骨幹部骨折) 1ヶ月間の休職を要す	・安全意識の欠如	・安全教育の徹底
43 農 (3)	H23.02.11 13:55 架空線・埋設物	農地	バックホウで敷鉄板を吊上げながら後退し右回転した時に、バックホウのアームが架設ヤード出入口の上空にある架空線(NTT光ケーブル)に接触しケーブル被膜が損傷した。 (物損事故) 公衆災害	・仮設ヤード内の架空線に対する防護管の未実施 ・安全意識の欠如	・架空線への防護管設置を徹底。 ・安全教育の徹底
44 土 (30)	H23.02.16 11:00 架空線・埋設物	河川	ダム下流の県道において、給水管の敷設のため掘削作業実施中に、誤って埋設されている農業用送水管を損傷させた。 (物損事故) 公衆災害	・試掘を省略して床掘作業を実施した。 ・安全意識の欠如	・「地下埋設物の事故防止マニュアル」の遵守徹底。 ・安全教育の徹底
45 土 (31)	H23.02.28 9:30 その他	道路	河川内工事用道路の一部に使用する目的で仮排水管を河川外より搬入し、橋脚の仮設築島部の右岸側河床部付近に仮置きしたところ、降雨により急激に増水した河川水が鋼管内に浸入し、鋼管の内側に付着していた廃油が下流へ流出した。(物損事故) 公衆災害	・安全意識の欠如 ・安全対策が不十分	・安全教育の徹底 ・安全対策の強化、徹底
46 土 (32)	H23.03.09 14:00 架空線・埋設物	河川	河道内に堆積した土砂をバックホウで集積していたところ、河川を横断している電柱支線にアームが引っ掛かり、電柱を折損した。 (物損事故) 公衆災害	・安全意識の欠如 ・安全対策が不十分	・安全教育の徹底 ・安全対策の強化、徹底
47 土 (33)	H23.03.21 12:35 交通事故	道路	監査廊上に設置してあった工事予告看板が何らかの原因で倒れており、車が通りかかった際、対向車がいたため避けきれず、ひっかけてバンパーに傷がついた。 (物損事故) 公衆災害	・工事看板の固定が不十分	・大型車等の通過による風圧に耐えうるよう固定し安定性を強化
48 土 (34)	H23.03.24 15:40 交通事故	道路	片側交互規制中、一般車両が右車線から左車線に戻る際に、歩道と車道の間設置していたコンクリートカッター機の手摺部分に通行車両が接触した。 (物損事故) 公衆災害	・安全対策が不十分	・安全対策の強化、徹底

平成22年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成23年3月末現在) (NO:7)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
49 土 (35)	H23.03.25 10:00 建設機械	河川	仮設道路上で、バックホウのブームを伸ばして、大型ブロックを吊りあげて旋回したところ、バランスを崩しバックホウが転倒した。 男 59歳(右第4, 5, 6肋骨骨折)5週間の加療を要す	<ul style="list-style-type: none"> ・無資格者による作業の実施 ・安全意識の欠如 	<ul style="list-style-type: none"> ・有資格者による就業の徹底と作業員名簿による管理 ・安全教育の徹底